



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月26日

上場会社名 株式会社 帝国ホテル  
 コード番号 9708 URL <http://www.imperialhotel.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 定保英弥

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉山和久

TEL 03-3504-1111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	42,952	2.2	3,940	2.1	4,135	1.6	2,831	2.2
29年3月期第3四半期	42,027	0.5	4,023	4.0	4,202	3.6	2,896	7.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,163百万円 (5.5%) 29年3月期第3四半期 2,998百万円 (14.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	47.72	
29年3月期第3四半期	48.82	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	76,463	56,001	73.2
29年3月期	74,667	53,727	72.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 56,001百万円 29年3月期 53,727百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		8.00	15.00
30年3月期		7.00			
30年3月期(予想)				8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	2.6	5,200	5.4	5,400	4.5	3,700	0.3	62.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	59,400,000 株	29年3月期	59,400,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	75,916 株	29年3月期	75,916 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	59,324,084 株	29年3月期3Q	59,324,134 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、不安定な国際情勢などの影響が懸念されましたが、企業収益や雇用情勢の改善により、景気は緩やかな回復を続けてまいりました。

ホテル業界におきましては、アジアを中心とした訪日外国人客の増加が続きましたが、新規ホテルの開業等による客室の供給増や競合ホテル間での価格競争の激化など、厳しい経営環境となりました。

当社グループにおきましては、外国人富裕層の利用拡大に向けた営業活動を推進するとともに、「フランク・ロイド・ライト誕生150周年」など話題性のある企画や英国フェアなどの海外関連催事を積極的に開催し、グループ一丸となって集客と売上げの増進に全力を注いでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比2.2%増の42,952百万円となりましたが、営業費用の増加もあり、営業利益は前年同期比2.1%減の3,940百万円、経常利益は前年同期比1.6%減の4,135百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2.2%減の2,831百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比2.3%増の40,093百万円、営業利益は前年同期比2.0%減の3,992百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比1.1%増の2,873百万円、営業利益は前年同期比1.1%減の1,587百万円となりました。

なお、当社グループが営むホテル事業は、第1四半期及び第3四半期に宿泊及び宴会需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し76,463百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し38,398百万円となりました。これは売掛金の増加などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し38,065百万円となりました。これは有形固定資産が減少し、一方で、投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.8%減少し7,516百万円となりました。これは賞与引当金の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し12,945百万円となりました。これは長期預り金の減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し56,001百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,883	28,511
売掛金	3,428	4,093
有価証券	3,768	4,269
貯蔵品	533	799
繰延税金資産	550	268
その他	710	459
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	36,869	38,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,449	14,201
その他(純額)	5,604	5,490
有形固定資産合計	20,054	19,692
無形固定資産		
投資その他の資産	1,705	1,556
投資有価証券	7,549	8,460
その他	8,488	8,356
投資その他の資産合計	16,037	16,816
固定資産合計	37,797	38,065
資産合計	74,667	76,463
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,165	1,762
未払法人税等	318	462
未払費用	1,808	2,202
前受金	858	739
賞与引当金	1,198	410
その他	2,546	1,939
流動負債合計	7,895	7,516
固定負債		
退職給付に係る負債	7,174	7,193
資産除去債務	984	990
長期預り金	4,464	4,341
建物解体費用引当金	299	299
その他	121	121
固定負債合計	13,044	12,945
負債合計	20,940	20,462

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	50,900	52,841
自己株式	△89	△89
株主資本合計	53,674	55,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	913	1,140
退職給付に係る調整累計額	△860	△755
その他の包括利益累計額合計	52	385
純資産合計	53,727	56,001
負債純資産合計	74,667	76,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	42,027	42,952
材料費	8,899	9,327
販売費及び一般管理費	29,103	29,684
営業利益	4,023	3,940
営業外収益		
受取利息	29	26
受取配当金	22	24
持分法による投資利益	33	58
その他	93	84
営業外収益合計	178	195
経常利益	4,202	4,135
税金等調整前四半期純利益	4,202	4,135
法人税、住民税及び事業税	665	1,029
法人税等調整額	641	274
法人税等合計	1,306	1,304
四半期純利益	2,896	2,831
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,896	2,831

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,896	2,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	219
退職給付に係る調整額	22	105
持分法適用会社に対する持分相当額	0	7
その他の包括利益合計	101	332
四半期包括利益	2,998	3,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,998	3,163



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,199	2,827	42,027	—	42,027
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15	15	△15	—
計	39,199	2,842	42,042	△15	42,027
セグメント利益	4,073	1,605	5,679	△1,655	4,023

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	40,093	2,858	42,952	—	42,952
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15	15	△15	—
計	40,093	2,873	42,967	△15	42,952
セグメント利益	3,992	1,587	5,579	△1,639	3,940

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。